

山 旅

会報 No.229
好山好山旅会



ユキワリイチゲ

平成25年 4月例会山行計画

第一例会	4月 7日(土)	
中央線の山	セイメイバン~岩殿山	担当者 高橋
第二例会	4月13日(土)~14日(日)	
関西の山	吉野山&稲村ヶ岳	担当者 清水
第三例会	4月21日(日)	
中央線の山	坪山	担当者 原田
第四例会	4月27日(土)~28日(日)	
中京の山	伊吹山&鈴鹿の山	担当者 大田

平成25年2月の例会報告

《 九鬼山 》

2月17日(日) 天気：晴れ

参加者：原田 L 高柳 小野 中村 高橋 尾辻 八木 白井 鈴木 吉田 船入 吉塚
板橋 小淵

計 14 人

- 原田 記 -

静かな冬晴れの一日、北方向は大菩薩、権現山稜、奥多摩、南はお目当ての雪の富士山に道志、杓子、鹿留山、御正体山、三つ峠などの展望も欲しい儘。高指山から871P間が少し上り下りがあり、短い急坂も2箇所あるが、思いの外雪が少なく快適に進めた。

900mのピークで、昼食タイム。なにせ、総勢14人、その賑やかさは、ご想像にお任せとすること。

雪一面の山頂に先客3人組の若人。(これがこの日出会った人の全て)下山路は北面となる為、田野倉と禾生コースの分岐までは踏み固められた急な雪道が滑りやすく、四苦八苦の人も。

静けさ、雪の富士山、踏みしめる雪の感触などこの時期の低山歩きのお楽しみは、味わえたかな。

コースタイム 猿橋9:05(タクシー15分乗車後雪のため下ろされ、30分歩く)

10:00 鈴ヶ音峠 10:10 桐木差山 10:30 通過 10:38 高指山

10:45 11:20 富士山の見える絶景地 12:00 ピーク 900m(昼食)

12:45 13:30 九鬼山 13:40 13:55 天狗岩 14:00

分岐 14:30 田野倉 15:10

費用 電車 高尾 猿橋 570円 田野倉 高尾 780円 タクシー 猿橋 鈴ヶ音峠(途中まで)
2690円(1台)

《 陣見山～雨乞山 》

日時：平成25年2月10日(土) 晴れ

参加者：高橋(L) 尾辻、中村、小野、土方、板橋、小淵、長島(敬称略) 8名

- 板橋 記 -

秩父山地から南流する荒川は、陣見山の麓で直角に関東平野に向きを変える。今回は、荒川沿いの秩父鉄道・波久礼(はぐれ)駅から隣の樋口駅まで歩くコースだ。駅前に長崎の平和祈念像の製作者・北村西望さんの短歌碑があった。東から西へ、これから歩く尾根道が見え、天気も快晴無風で、気分が良かった。

波久礼駅南の踏切を渡り、舗道を10分ほど行くとカンポの宿。左折して山道に入る。最初の急登を過ぎると、冬枯れの尾根道から右手に円良田(つぶらた)湖が見えた。4・5回アップダウンを繰り返して、急な木段を登ると虎ヶ岡城址で、広いあずまやがあった。ここで小休止。頂いた凍らせたキンカンが、甘く水々しく、美味しかった。

葉を落とした木々の尾根は西に続き、急降下すると大槻峠。積雪が多い訳ではないが、ここの下

りの氷ついた雪で滑り、腰を強打して、しばらく痛かった。車道を横断し、ここからも数回の上り下りを経て、陣見山着。標高差は420mだが、2時間45分かかった。見た目以上に大変だった。

陣見山の頂上は木立に囲まれ、おまけに電波施設や鉄塔があって、休憩には適さなかったが、丁度昼時に昼食を食べた。今回も長島さんの手間の掛かった牛スジの煮込みとおでんをご馳走になり、満腹になった。

山頂からしばらく行くと、北側に木々の切れ目があり、遠く雪を被った赤城山、その右に男体山が見えた。陣見山は低山ながら、栃木や群馬の山々を展望できるポイントもある。頂上から25分で榎峠。車道を横切り、山道に入る。山道と林道を歩くこと1時間で雨乞山。アイゼンを着けるほどでもないが、雪道でコースタイムより時間がかかった。

幸運にも雨乞山山頂の南に開けた斜面でハンググライダーのグループに会い、離陸をすることができた。2機が飛び立つのを見た。悠然と空を舞うグライダーを見上げて、しばし時の経つのを忘れ、20分出発を伸ばした。横10mもある翼と人が乗る部分と合わせると70~80万円するという話も面白かった。

20分ほど杉林の林道を歩き、標識の無い分岐を左に20分下ると国道に出た。10分で樋口駅。手前の小学校の塀には、寛保2年(1742年)の大洪水で水がここまで来たという線が引いてあった。国道から4m、荒川の川底は更に20m下だ。水位が24mも上がる洪水とは一体どんな洪水だったのか。300年に1回は破天荒の災害があるということを痛感した。

後で分かったのだが、樋口駅から15分の道光寺門前の斜面には、関東一といわれる3,000平米もあるカタクリの大群落がある。次回は春に再訪してみたい。

コースタイム :

波久礼駅(09:35)~カンボの宿(09:45)~虎ヶ岡城趾(10:50)~陣見山頂(昼食 12:20~13:00)~雨乞山(14:20~14:45)~南尾根分岐(15:05)~樋口駅(15:35)

費用: 池袋~寄居 860円 寄居~波久礼 160円

《霧ヶ峰》

参加者 清水〔L〕 土方 鈴木 池田 早川 瀬川 計6名

- 清水 記 -

平成25年2月23日(土曜) 晴れ

甲府付近に近づくと、車窓からは、南アルプスの山並みが見えて来て、南東には、富士山の姿もあり、いいお天気だ。

上諏訪からジャンボタクシーに乗り込み、平地でも雪が降ったばかりのようで、雪景色を見ながらビーナスラインを登って行くと、沢渡のゲートに着いた。ここから2分程で、少し古くなった山小屋風別荘のようなたたずまいのヒュッテジャベルに着いた。

まだお昼までには時間があったので、それぞれ身支度を整えワカンやスノーシューを履いて、ヒュッテジャベルから少しゲートの方に戻り、トレースのある右手から山道を登って行った。

高い所に向かって歩を進めて行くと、段々トレースがなくなってしまい風も少しづつ強くなってきた。更に真っ直ぐに登ったら、標識があり右に車山の表記があった。さらに真っ直ぐに登ったら、南の耳という高みに着いた。目の前には、蓼科山が大きく見え、それに連なる八ヶ岳の山並み

も綺麗に見えた。南東方向には、きらきらと輝いている車山の気象レーダーが見えた。

風が強くて寒かったので、車山乗越し方面に向かい、窪地で風が少し弱いところで昼食とした。急な坂道のスキーゲレンデの脇を注意深く登り、車山の頂上に着いた。八ヶ岳が、大きく見えて、南アルプス、御岳山、北アルプスも綺麗に見え、最高の眺望だった。車山の肩に向かって下山して、そのまま沢渡の小屋に戻った。

2月24日(日曜) 曇り晴れ

小屋の主人は、晴れますよと言ってくれたが、青空は、少し見えるが、雲が多い天気。今日は昨日行くはずだった、蝶々深山に昨日と同じ道を登り、途中の標識を車山方向に向かい歩きはじめた。

高い所に向かって歩を進めるが、トレースが風で消されてほとんど無い状態なので、何となく不安な感じ。段々太陽が雲に隠れてしまい、展望もほとんど無い状態。さらに高みに向かうが、かなり歩いたのに頂上らしき標識は、見えず。ピークは過ぎて、微かに下がったところに、車山の方向を示す標識があった。

頂上は、過ぎていたと思ったので、物見石方向に向きを変えたが、風が強く、寒さもキツくて一瞬ホワイトアウト状態になったので、高度を下げる方向に行こうかと話あったが、次の瞬間には、物見石や八島湿原の方面がはっきり見えて来たので、やはり予定通り、物見石方向に向かった。高い所を目指して西方向に向かったが、今度は物見石の南側のピークに登ってしまったようで、北側に、物見石らしい山が見えて来たが、風が強く、寒さもきついので、目の前に見えて来た八島湿原方向に降りることにした。

先頭で、鈴木さんと土方さんが、道を探してくれて、時折深みにはまることもあったが、無事に八島湿原にたどり着き、風と寒さから解放されて日溜まりでゆっくり休憩をとった。そのあと、沢渡の方向に向かい、予定通り12時半に小屋に戻った。昼食後、予約しておいたタクシーで上諏訪に向かい、帰途に着いた。

真っ白くて、だだっ広い、冬景色の霧ヶ峰をたっぷり堪能したが、気象条件が悪いと、雪山は、非常に危険だということも少し味わうことができ、経験を積むことが出来て良かったと思った。そして、一泊した山小屋ヒュッテジャベルは、少し老朽化している宿ではあったが、よく手入れがされていて、気さくなご夫婦の霧ヶ峰を愛する気持ちを十分味あうことが出来る素敵な小屋だった。雪質は、モナカのような雪だったが、風が吹き、雪が飛ばされると、さらさらの粉雪になって、歩くのが気持ち良かった。いろんな意味で楽しめた山行だった。

コースタイム

23日 ヒュッテジャベル 11:15 南の耳 11:30 車山頂上 13:15
 車山肩 14:15 ヒュッテジャベル 15:20

24日 ヒュッテジャベル 9:15 蝶々深山 10:15 八島湿原 11:15
 ~11:30 ヒュッテジャベル 12:25

費用 電車代 乗車券 3570円×2 (新宿~上諏訪) 特急券 2100円×2
 宿代(一泊二食) 9000円 タクシー代(ジャンボ) 6000円

お知らせ

1．新入会員のお知らせ

4月より板橋さんの紹介で、川崎市宮前区にお住まいの宮崎 彰さんが加入されます。

3月例会のシダンゴ山に体験山行されています。

皆様よろしくお願いたします。

2．4月6日(土)午前9時より豊島区勤労会館にて役員会を開催いたします。詳細は先月号でお知らせしております。



山旅 No.229 平成 25 年 3 月 1 日発行 発行者 大田雅巳 編集者 鈴木陽子

発行所 名古屋市南区駈上 1 - 14 - 37 - 606 大田方 好山好山旅会

WebSite <http://www.kozanko.net/>